

しんろだより~道~

秋田県立聴覚支援学校
進路指導部
令和7年6月30日発行
No.2

高等部では、卒業後の社会自立に向けて職業ガイダンスや会社見学会に取り組んでいます。

今号では、その学習の様子を紹介します。

高等部

職業ガイダンス

5月27日（火）、職場実習や就労に向けて清掃作業を通して学びの意識を高め実践する態度を育てるため、株式会社友愛ビルサービスの富谷茂樹氏をお招きして職業ガイダンスを行いました。

ガイダンスでは清掃の仕方、用具の使い方だけではなく、入退室のマナーや礼の仕方などについても学習しました。動作の一つ一つにも様々な気遣いやルールがあります。それは安全やお客さまの気持ちに寄り添うためであること。また、それをただ知るのではなく、実際に体を動かして活動し、感じることを含めて「分かる」ということであるというお話をいただきました。

身体全体をつかった清掃の動作は容易ではありません。しかし、富谷さんの「まねをしてみてください。100回まねをすれば101回目には100点を取れます。継続は力ですよ。」という温かいアドバイスに励まされ、諦めずに挑戦する生徒たちの姿が見られました。今後の学校生活においても、職場実習においても、困難に直面する場面があるでしょう。そのようなときにはこの日の職業ガイダンスを思い出し、粘り強く取り組んでほしいと感じました。

（文責：長崎花菜）



会社及び事業所見学会



5月15日（木）、「働くこと」への理解を深めることを目的に、会社及び事業所見学会が実施されました。今年度は高等部2年生、3年生の職業科生徒と普通科生徒が参加し、株式会社三井光機、秋田いなふく米菓株式会社、東京電装工業株式会社、就労継続支援B型事業所サンハウスの4箇所からそれぞれのねらいに応じて選択し、見学しました。

三井光機では、会社概要の説明を受けた後、レンズの研磨工程や暗室でのプリズム製品の検査業務など、日常生活では見ることもない様子を見学し、一つの製品が仕上がるまでにどれだけの時間と手間が必要か、また製品の厳しい基準についても知ることができました。東京電装工業では様々な電飾看板やディスプレイの規格サイズの細かさや設置許可にかかる手間の多さなどを学びました。秋田いなふく米菓では、秋田を代表する菓子を作るという熱い思いと徹底した衛生管理があってこそその商品であることを目の当たりにしました。サンハウスを見学した生徒は、自分の力で安全に通勤するための道順を確認し、事業所内で利用者の方が取り組んでいる内容を見学して、その後の職場実習に向けて見通しをもつことができました。

今回参加した生徒たちは「働くこと」に含まれる業務への責任感、交渉力、情熱、互いへの気遣い、体調管理など、普段の学校生活では学びきれない様々なことに触れることができました。この経験を今後の生活でも生かし、「働くこと」の理解を生徒自ら深めてほしいと願います。

（文責：伊藤健人）

発行内容・お問い合わせについて

「しんろだより~道~」は、保護者の皆様へ進路に関するたくさんの情報をお伝えしていきます。学校ホームページにも掲載しておりますので、どうぞご覧になってください。

（ホームページURL：<http://kagayaki.akita-pref.ed.jp/chokaku-s/>）

他にも進路に関して知りたい情報や疑問等がございましたら、お気軽に教頭、主事、担任、進路指導部員にお話ください。